■日時 令和5年8月17日(木) ■天候 晴れ時々曇り

福岡連合 対 神戸市立神戸工科高校

■球場 駒沢硬式野球場

第1試合 1回戦

■試合時間 2時間40分 ■備考

■審判 球審:佐々木 信 塁審:城 駒塚 竹本

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9				計	安	失
福岡連合	東九州・福岡	1	2	0	0	0	1	1	1	0				6	4	4
神戸工科	兵庫	4	1	0	0	0	2	0	0	×				7	6	4

		<b>†</b>	逼岡	連行	À																			
		ポ	ジショ	シ			氏名	名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	遊	投				碓	井	路流	4	1	1	0	中安	遊飛		捕犠		四球	投ゴ		ニゴ			
2	捕					佐	藤	陽岳	1	1	0	1	四球	四球		遊飛		四球		四球				
3	右					遠	矢	流星	4	0	1	1	三ゴ	左安			投ゴ	捕邪		四球				
4	_	遊	_			小里	予田	直亮	4	1	1	0	四球	投ゴ			三振		右安					
5	中					合	庭	大 吉	5	0	1	0	三振		捕邪		三振		左安	投選				
6	Ξ					種	岡	蓮 翔	2	1	0	1	三失		三振			死球	死球	死球				
7						日	野	恭 彬	5	1	0	0		投失	三振			三振	三振	投ゴ				
8	左					抽	留	光葉	0	1	0	0		四球		四球								
8	打	左				江		大 和	3	0	0	0						三失	三振		遊ゴ			
9	投					中	山	愛 結	0	0	0	0												
9	打					松	枝 :	悠太朗	1	0	0	1		投ゴ										
9	_	遊				西	原	優乃介	4	0	0	0				遊飛		一邪	振逃		二ゴ			

残塁:13

併殺:1

4 4 備考

### ■バッテリー

投手	捕手
中山愛結	佐藤陽岳
碓 井 路 流	

合計

## ■投手成績

33 6

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
中山愛結	1	9	3	0	1	2	33
碓 井 路 流	7	30	3	12	4	0	109

		1	申戸	工	枓																					
		ポ	ジショ	ョン			氏:	名		打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊					大	針	輝	悠	4	2	2	0	中3			三ゴ		左安		四球				П	
2	中					森	畄	大	河	3	3	0	0	死球	捕選		三振		四球		三振					
3	投	ı	投			坪	田	真	穴	3	1	0	0	二失	四球		死球		三振		左飛					
4		投				前	田	正	透	4	1	2	2	左安	右2		<b>–</b> ⊐		遊失							
5	Ξ					松	井	瑛	太	4	0	0	0	右失	二飛			三振	三振							
6	右					倉	金		環	4	0	0	0	一飛	三振			三ゴ		三振						
7	=					中	嶋	伊	織	4	0	2	1	中2		三振		二安		三振						
8	左					神	前	秋	星	4	0	0	0	三ゴ		三振		三ゴ		三振						
9	捕					中	井	清	太	4	0	0	0	ーゴ		三ゴ			投飛		三振					
							合	計		34	7	6	3	残	塁:8	併衤	殳:0									
												備	考													

# ■バッテリー

## ■投手成績

投手	捕手
坪田真心	中井清太
前田正透	

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
坪田真心	2 2/3	15	2	1	4	2	60
前田正透	6 1/3	27	2	8	8	2	123

### ■戦評

一回戦第一試合、東九州・福岡代表福岡連合と兵庫代表神戸市立神戸工科高校との試合は、一回表福岡連合の先頭打者の碓井が安打で出塁すると、四球や相手の失策も絡み幸先よく1点を先制。その裏神戸工科の先頭大針も右中間への三塁打で好機を作ると相手の失策や七番中嶋の二塁打など打者一巡の猛攻を見せ、一挙4点をあげ、逆転に成功する。2回表失策や四球で好機を作ると、三番遠矢の適時打などで福岡連合が2点を返す。その裏神戸工科は四番前田の二塁打で1点を追加。一進一退の攻防を繰り広げる。その後両校の投手が落ち着きを取り戻し、お互い無得点が続く。試合が再び動いたのは6回。福岡連合が押し出しの四球で1点を挙げるとその裏神戸工科も2点を追加。逆転したい福岡連合は6、7、8回にそれぞれ1点を挙げ、1点差に詰め寄るも一歩及ばず。一進一退の試合を制したのは神戸工科であった。